

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	三笠市立保育所運営事業	三笠市	7,480,800	4,991,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	三笠市立保育所運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		三笠市		
交付金事業実施場所		三笠市若松町ほか1件		
交付金事業の概要		当市は、少子高齢化、共働き家庭の増加、ひとり親家庭など多様化する保育ニーズに対応するため、本交付金を活用し、保育士を確保することで保育サービスを充実させ、安心して子育てができる環境づくりを行います。三笠市内保育所の保育士人件費(保育士7名)4ヵ月分。		
総事業費	7,480,800	交付金充当額	4,991,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	4,991,000	
交付金事業の成果目標		<p>当市では、少子高齢化や共働き家庭の増加、ひとり親家庭など家庭環境が多様化しています。このため、「三笠市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、仕事と子育ての両立支援や、多様なライフスタイルに対応した子育て支援などに取り組んでおり、一般保育のみならず、一時保育や障害児保育の実施などの保育サービスの充実や保護者の経済的負担を軽減するなど、安心して子育てができる環境づくりを推進しているところです。</p> <p>しかしながら、当市は石炭産業で栄えた全盛期には約63,000人の人口を数えたものの、国のエネルギー政策の転換による炭鉱の閉山に伴い、現在では8,877人(平成29年3月末現在)と全盛期の1/7以下となり、人口の減少・過疎化の進行に歯止めがかからない状況であり、税収等が減少していく中、厳しい財政運営を行っています。少子化対策に取り組むにあたって、子どもたちの健やかな成長はもとより、共働き世帯やひとり親世帯が安心して働き続けるためにも保育所の運営及び保育サービスの充実は必要不可欠なものとなっています。</p> <p>そのため、本交付金を活用し、保育サービスの充実を行い、保育所を安定的に運営し、安心して子育てができる環境をつくることで、地域住民の福祉の向上を図ります。</p>		
交付金事業の成果指標		本交付金事業によって成果目標を達成するには、保育士7名の人件費に交付金を充当し、保育士を確保することで保育サービスの充実を図り、入所児童数を平成28年度と同水準を維持することとします。(平成28年度 103名)		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、保育士人件費(7名)の4ヵ月分を確保することができたことから、保育サービスの充実を図ることができ、入所児童数を28年度と同水準維持することができました。(平成29年度 108名)</p> <p>また、国の電源立地地域対策交付金を財源として、維持運営している旨を保育士・保護者など広く周知し、地域の理解促進を図っていく予定です。</p> <p>今後も引き続き本交付金を活用し、保育サービスの充実を行い、安心して子育てができる環境をつくることで、地域住民の福祉向上を図っていく予定です。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	人件費	雇用	保育士7名	7,480,800
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		平成33年度		

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。